

## ネイティブウサギホスホリラーゼ**b**

Cat. No. NATE-0563

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** ホスホリラーゼ**b**は非活性型であり、安静時の筋肉に存在します。ホスホリラーゼ**b**キナーゼの活性は、 $Mg^{2+}$ :ATP比が超えると著しく増加します。筋収縮中のATPの分解は、ホスホリラーゼ**b**の*in vivo*交換を引き起こすと考えられています。ホスホリラーゼ**b**は、イノシン酸によって活性化されます。

**用途** ホスホリラーゼ**b**は、筋肉における不活性ホスホリラーゼ**b**から活性ホスホリラーゼへの交換メカニズムを研究するために使用されます。ホスホリラーゼ**b**は、温度、AMP、フッ化物、洗剤など、ホスホリラーゼ**b**からホスホリラーゼ**a**への交換に影響を与える要因を研究するために使用されます。また、ホスホリラーゼ**b**欠損異の研究にも使用されます。Creative Enzymesの酵素は、メチルアミン脱水素酵素サブユニットの分子量を研究する際に、セファロースC1-6Bカラムのキャリブレーションに使用されました。これは、チャージ還元バッファー内でスーパーチャージ試験を用いて生成されたホスホリラーゼBイオンのイオンモビリティ-質量分析研究にも使用されています。また、ホスホリラーゼキナーゼと[32P]ATPを使用してp32標識ホスホリラーゼAの調製にも使用されています。

**別名** ホスホリラーゼ**b**; EC 2.4.1.1; 9012-69-5; 筋肉ホスホリラーゼ**a**および**b**; アミロホスホリラーゼ; ポリホスホリラーゼ; アミロペクチンホスホリラーゼ; グルカンホスホリラーゼ;  $\alpha$ -グルカンホスホリラーゼ; 1,4- $\alpha$ -グルカンホスホリラーゼ; グルコサンホスホリラーゼ; グラニュロースホスホリラーゼ; マルトデキストリンホスホリラーゼ; 筋肉ホスホリラーゼ; ミオホスホリラーゼ; ジャガイモホスホリラーゼ; デンブンホスホリラーゼ; 1,4- $\alpha$ -D-グルカン:リン酸  $\alpha$ -D-グルコシルトランスフェラーゼ; ホスホリラーゼ (あいまい)

### 製品情報

|         |   |
|---------|---|
| 種       | ウサギ   |
| 由来      | ウサギの筋肉  |
| 形態      | タイプI、乳糖、5'-AMP、およびMg (OAc) <sub>2</sub> を含む凍結乾燥粉末 (100 mgのタンパク質あたり10 $\mu$ mole); タイプII、凍結乾燥粉末、淡黄色。   |
| EC番号    | EC 2.4.1.1  |
| CAS登録番号 | 9012-69-5   |
| 分子量     | mol wt 97.2 kDa by calculation  |
| 純度      | 2× 結晶化  |
| 活性      | タイプI、> 20ユニット/mgタンパク質; タイプII、> 7ユニット/mg。  |
| 混入物     | ~0.01 $\mu$ mol/mg タンパク質 5'-AMP (この低レベルは、ホスホリラーゼおよびホスホリラーゼキナーゼアッセイに干渉しません。)   |
| 単位定義    | 1ユニットは、30°CでpH 6.8の条件下で、グリコーゲンとオルトリン酸から5'-AMPの存在下で1分あたり1.0 $\mu$ moleの $\alpha$ -D-グルコース1-リン酸を生成します。この反応は、ホスホグルコムターゼ、NADP、およびグルコース6-リン酸脱水素酵素を含む系で測定されます。(1 $\mu$ モル単位は約45コリ単位に相当します。) |

### 保管・発送情報

保存方法 -20°C

